

ロクな死にかた

作・広田淳一 2010. 11. 18

出演

毬井 死んでしまったチサトの恋人。

水野チサト 毬井の元・恋人。元・飲食店店長。現在はアルバイト。姉・母と同居。
水野ハルカ その姉。会社員。

母 二人の母。(初演時は男性キャストによって演じられた)
生方 水野ハルカと同僚。

武田 毬井の学生時代からの友人(毬井2は武田と同一俳優が演じる)。

白井 武田の後輩。ダーツが大好き。

みい 武田の恋人。結婚願望が強い。

村瀬 毬井死亡時の毬井の恋人。

佐川 学生時代の毬井・武田の友人。

吉久 学生時代の毬井・武田の友人。

五戸 学生時代の毬井・武田の友人。

斉藤チカ 飲食店勤務時代のチサトの部下。

針谷 飲食店勤務時代のチサトの部下。

生田目 飲食店勤務時代のチサトの部下。

たつくん 冥界と現世をつらつく謎の少年。

一平 恋人を看病する男。

看病される女。 看病される女。

◆…音響 ★…照明 ●…演出 @…カブってしゃべる

・「たとえば(く)の(つ)に」括弧に入っている言葉は発音されない。

「(笑)。「と記述がある場合は、笑う声を立っている」。

台詞の頭や語尾、あるいは途中に(笑)が含まれている場合は笑いながら台詞を発話するという意味。

0 たちあがれ

始動

開演前

開場。

制作陣はフォーマルな恰好。劇場内は無音。

やがて一人の俳優がラジカセをもって登場。
ラジカセのボタンを押すと音楽が流れ始める。

俳優が徐々に舞台上に現れてきて、準備体操などアップを始める。

以後、俳優同士が会話を交わし始める。

開演前から開演へ、時間はなだらかに結ばれていく。

緊張感とリラックスの同居した時間。

劇場全体が呼吸しているイメージ。

俳優は役柄としてよりは単に俳優として存在しているように。

ただし、劇場空間の緊張感は徐々に高まっていくかなんてはいけない。

だんだん眠くなっていくような

どんどん弛緩していきふじなじがあとには、いけない。

音響・曲：三

やがて最初のダンス曲が始まる。

準備運動をしていた役者たちが徐々にクラブ・ミュージックをはじめ、やがてそれはダンスへと発展していき。ラジカセから流れていた音楽がスピーカーからも流れだし、かなりの大音量になる。緊張した空気がある頂点におおきく、劇がはじまる。

音響Cutout。俳優はその場に皆、倒れる。

照明変化。

大音量から一転しての静寂。

舞台中央には俳優たちが倒れている。男と女が別々の入口から登場。

二人は遠く離れて座って正面を向いている。

タバコを吸うとか何か物を持っているようにも。

バリバリ音を立てながらスナック菓子を食べている、とか。

ハニーコーンを食べている、とか。

照明。二人に対して少し強すぎるほどの光が差し込んでくる。

女 ねえ……。ねえ、閉めてくんない、

一平 ん？ なに？

女 閉めてそのカーテン。ちよつと光が入ってきい…。

一平 あー、ごめんごめん。

女 ありがとう……。

女、女、一息つく。疲れている様子。

女 ねえ、あたしが死んだあとも、あの金魚って育てる…。

一平 金魚？ なに、どつしたの急に。

女 いや、どつすなのかなあつて思ひい。

一平 考えないでいつか、そとないじ。

女 うん……。

一平 ちゃんと育てていひかじ。心配しなごじや。

女 んー、そつやつつてまた金魚の歴史は続つてくるんだわね。

一平 (笑) なんだそれ。まあ、続つていひだんじや。

女 ねえ、なんかまたお話ししてよ。

一平 うーん。ないなあめ口好。

女 なんでもいいからさ。適当に作つて。

一平 うーん、適当に作つてえ？

女 そつそつ。

一平 ……じゃあ今日はね、「死んだと思つたらやっほひ生きた」てつし話してよひか。

女 なにそれ、「死んだと思つたらやっほひ生きた」？

音響・曲：in

倒れている俳優たちがめくめくひらひらと音がかり動き始める。

一平 エーと、まあそのお話っていうのはさ、ある男が死んじゃった、とこころから始まるんだけど、
そっちはね、毬井くん、っていう奴なんだよね。

女 マリィーくん？

一平 毬井くんの友達とか、彼女さんとかがいつまでたってもタダこねてるんだ。「毬井くんが死ん
だなんてゼッタイ認めないー!」っていう。そっちな話。

女 マリィーくんは何(笑)？ 苗字なの？

一平 そっちな。えーとね、毬井の毬に井戸の井でさ。

女 (笑)。なんか女の子の名前みたい。

音響・曲:in

俳優たち、再び一斉に倒れる。今度は男が一人だけ立ったまま残る。

1 序 あの人には死んでない

希望的

希望的 毬井の手記・1 『超電子バイオマン』

一人の男（毬井）がいる。

毬井はテープレコーダーを持ってそれに向けて話す。

毬井 うしろうしろ、死に方について考えてきました。自分は一体、どんな風にして死んでいくんだらうかって、そんなことはわからなからきりなんです。最初のきっかけは幼稚園のころに見た戦隊ものの『超電子バイオマン』でした。当時、『バイオマン』が一番カッコイイ無敵のスーパーヒーローだったんですが、ある時メンバーの一人、イエロー・フォーが殺されてしまったんです。イエロー・フォーはかわいい女の子で、カメラのフラッシュみたいなのを分らない武器で必死になって戦ったんですが、「イヤーっ」とか「きゃーっ」とか散々いじめられたあげく、結局、悪の手先によってふち殺されてしまったんです。自分は悔しくて悲しくて、その殺されたイエロー・フォーがやっつけてなまめかいてくっついてくっついて、ムチャクチャに興奮したんです。しばらくすると「代目のイエロー・フォーが登場して、初代イエローは死んだままになりました。ハハハ。「死んだら死んだままになる」という、こんな当たり前のことが当時の自分には衝撃的で、それ以来、「自分は一体、どんな風にして死んでいくんだらうか」とかいろいろ思うが、心の中で大きな位置を占めるようになってきたんです。

倒れていた俳優がいきなり立ち上がる。

音響・SE雑踏。

毬井 死ぬことになったその日、自分は池袋に來ていました。そっ、この日です。

俳優たちが一斉に走り去って、毬井がそれを見送る。

毬井、改めて正面を向き、

毬井 今からするのはそのあとのこと、自分が死んだあとのお話です。

音響・Cutout

独白をなすための物理音。途中で切断されるように終わる。

希望的 水野家・1

場面は水野家、チサトの部屋となる。

水野と生方がパソコンを覗いているところへチサトが近づいてきて、それを隠したのだ。

チサト ちょっとお姉ちゃん何やってんの？

水野 ああ、「じゅんじゅん」。電源つきっぱなしだったから、

チサト はあ？ 電源つきっぱなしだったら人のパソコン覗くわけ？ そんなの全然いいわけになっ
てないっ！

水野 「じゅん」言い訳するつもりはなかったんだけど、

チサト してないやんと言っ訳。現にしているじゃない。

水野 うん。そっだね。「じゅん」なせい。

チサト ふんげなごいよホント。

水野 「じゅんじゅん」。

チサト、「コートなび」外出着を脱いで部屋着となる。

水野 あれ？ あんたバイト行ってたんじゃなかったの？

チサト なんか暇だったから帰されて。気楽でいいよ、使われる側は。

水野 そっ…。

チサト て、え、どちら様？ その「チンポ」野郎は？

水野 止めようかもういっついの。

チサト @でちら様？ (一度目よりも少し大きな声)

水野 これは友達へ、ごころ相談してたらあんたとお話したいっ！

生方 どうも。チンポ「じゅん」生方です。

チサト おもしろい。なに医者？ カウンセラーとかそういうの？

生方 いや、別に「じゅんじゅん」じゃなくっ！

チサト じゃ、なに？

水野 だから友達。ホラ、たまには別の人がいたら空気変わるかなー、と思っつ。

生方 どうぞ「じゅん」。

チサト …… (声を立ちこせ笑っ)。

生方 なんかおかしかったですか？

チサト や、自由だな、と「じゅん」。

生方 自由？

チサト べつに会いたいともいってない人を勝手に連れてきて？ いいなー、頭の狂ってない人は、
と「じゅん」。

生方 今日は急に来て「じゅん」なせい、僕がちょっと無理をいってしまったぞ。

チサト いや深い意味ないんで別にいいんですけど。あ、なんかお話あるんだったら「じゅん」ぞ？ あた
ち「じゅん」だっ！と「じゅん」なせい。

生方 と「じゅん」はせむしとお話を聞かせてもらっかなと「じゅん」。

チサト じゃーね、質問しよっ。

生方 うーんと…まあ、そんな質問とかしてどうよりは普通にっつ、仲良くなればな、くらの…。(感)だしたなとすよ)

チサト @早Vコトバだわ。

生方 はい。じゃあ、あの…、あ、お姉さんから少しお話を伺ったんですけど、あの、チサトさんが以前おじぎあいでいた人をその…、くをれて、それでその、まあ、かなり思い入れのある方だったよいますか、その、

チサト なににたよにたよにっつたの。毬井くらのよ。

生方 そっです、その、あ、チサトさんとその毬井さんとの関係してっつつか、チサトさんとっつて毬井さんと、っつのは、どんな人だったのかな、とかっつてっつお話を…。

チサト @好まわ。

生方 好き、っつのは、それは恋愛感情っつてっ。

チサト はい。

生方 ええっつ、でもお一人は毬井さんがくになる大分前に別れてたんですよ？

チサト だったらなんなんですか？

生方 ええっつだからなの、

チサト なに？

生方 その、毬井さんとっつ人にもくになる前には別の恋人がいらしたんですよ？

チサト あの、おじぎあから「くになったくになった」って死んだ前提で話進めんのやめっただけまっ？

生方 ああ、すみませ。

チサト あんたも毬井くんが死んじやったと思ってるっつつか、そっつつまななわけでしょ？
っつその時点でめなまお話するよなごですからあたっ的には、

生方 その辺りも含めてお話をっつて思ってるっただけ…、

チサト、生方の顔をまじまじと覗き込む。

生方 はい？

チサト ……不思議ですよわねえ。生方さん？ はあたしを分析してそれでお姉ちゃんになんかお礼のれるわけでしょ？

生方 いや別、

チサト @めだしにそれだけの価値があるっつわけでもないのに何がその価値を生んだんですかね？
「頭がおかしい」っつことがならかの価値を生んだっつてっつですかね？

生方 いやいや、今口はほんとう友入っつて、

チサト 残念ですけれど、ホントに毬井くんはうも生きっつて、周りの人がそれを信じてくわなへっつても
あたしは全然いっつてすかっ。

水野 言っつてなごっつ、狂っつてっつかそんな…

生方 @いや、これは全然、僕の失言ですかり。

チサト うーわ、余裕ぶっちゃってやだねー。あたし話しませんよ。

生方 え？

チサト 肝心なところとか何し話しませんか？。

生方 それは、どうして？

チサト あなたがそのことの価値をわからないからです。

生方 価値、って？

チサト そのままであります価値。誰だって自分の大切な宝物をあげたくなへちゃいけないんですよ。せめて相手にその宝物がどんな価値を持つてるのか、とかそんなへんはわかかってほしいじゃないですか？ 別に生方さんには恨みとか全然ないですけど、ただで多分、どうにかこれはほぼ絶対として間違いないと思うんですけど、あたしみたいな生き方をしてきた人間と生方さんは全然、生き方がちょっといへらななでも違いますが、ちやちやってまったへ理解できないと思うんですけどね。

生方 でも、君だってまだ僕のことをよく知らないわけじゃないよ。

チサト いや、そっぴつぽっぴつ。そっぴつぽっぴつは絶対わかんないですよ。なんか、わかっへんね。そんなオーラないですよ。

生方 へー、それはもう少し様子見てから判断するってわけにはいかなさうの？

チサト いかないわ。

生方 どうして？

チサト どうしてもー。だからもー話すには無理ーせん！ー 現場からは以上です！ー

水野 あんたぶちやけてないで、もっちょっぴちやちやちや話さなよ。

チサト はあ？ お姉ちゃんこそ何なの人に断りもなへ、こんなへんわかんない人連れてきたり、勝手に人のパンコンも見るとか、

水野 だからそれは謝ったじゃん

チサト その態度は？

水野 いめんなさい。

チサト 別に謝んなへんわ。

水野 (笑) ……あんたもよかったよね、ホントにね。

チサト ハ何が？ 別によくありませんけど何も。

水野 あんたがちやっぴんになったおかげでみんなあんなのことをかまっへんね。あんなになったわけじゃない？

チサト @へんとか、は？ なんなのホント。え、ほっぴんねばらじやん。かまっへんなへん結構ですよ？

生方 冷静に話さじやう、水野さん。

水野 あんたの言っていることは全然分かりやすい話じゃないんだよ。もう死んじゃった人のこと生きている生きてもいっへん、そんなの普通にわかっていませぬわかなさうよ。

チサト も、ごーかひらひらかさうよ。わかんなへんわ。何言っへんの、全然意味わかんないよ、

水野 わかりたいと思っへんまきや聞かなさうよー！

チサト ……。

水野 あんたの言っていることわからたいの。だから、あんたにわからせる気かなきゃ無理だよっていつてたの。ちゃんとわかるようにするから、ちゃんと教えてよ。

チサト ……元気ハツラツだね。

水野 ……?

チサト そっぴやっぴたまには大きい声出すと健康にいいんじゃない？ 怒鳴られる方はたまったもんじゃなぐすぼ。

水野 別にあたしだって、こんな風にしゃべるとしもりは全くなかったんだけど。

チサト @だったら黙ってれば？ しもりもないのに勝手にしゃべっちゃった？ おもっぴーい。

間。二人とも黙る。

生方 そっぴ……。

チサト は？

生方 毬井さんて人がどうして生きていると思っのか、チサトさんの考えを聞かせてもらえませんか。

チサト、ノートパソコン、あるいは携帯端末を生方に見せて、

生方 あの、これは……

チサト いろいろ読ませ。

生方 はい……。これはあの、彼氏さんがやっていたブログですよ。

チサト ……なんか毬井くんが会えなくなっちゃったから、じゃあ経ってそのページ見てみたんだが、そしたら「いい」更新されて、「ええー」ってなっぴ。

生方 は？は？……

チサト そこからはホント毎日ブログを見るようになったんだけど、なんか結構長い文章とかもあってさっぴ。

生方 誰が書いてるんだろうって。

チサト そりゃ毬井くんさっぴ。

生方 あー、そっぴはあ。

チサト ……「なんぼいいかは頭がおかっぴ」っぴ。

生方 こっぴこっぴ……

チサト 「こっぴはいい」。そっぴ思ったこっぴは思わせっぴはこっぴ。ただ更新されてるのはホントだから、ホッ、一番新しい記事のブログ見っぴ。

生方 えー日は……、ちゅっぴ待っぴはあ。

チサト 一昨日のこっぴはあっぴ？ こっぴちゅっぴ更新っぴはあ。

和綴・田fade in。

生方 あ……、チサトさんさっぴはあなっぴはあ。

水野 わかった？

生方 たった今、更新されたみたいなので、記事が新しく……。

千サト 見せて……。

千サト、生方が見ているパソコン、あるいはiphoneに割り込むようにそれに見入り、最新の記事を
読まっしょい。

希望的 毬井の手記・2 『池袋から池袋まで』

場面転換。短いブログシーンの挿入。

生方 自分が死ぬことになったその日、自分は池袋に来ていました。彼女が「パル」で買い物をしてい
ったから、それに付き合っって池袋までいったんです。

舞台上、別の場所に毬井1と村瀬。

毬井1 そんなじゃ、あそこのマックにでも行くから。終わったら電話ちょうだいよ。

村瀬 じゃ一時間くらい戻って来るから。

毬井1 ゆっくりだよ。

村瀬 じゅんね待たせちゃって。

毬井1 いろいろー

村瀬 じゃあとまた。

毬井1 はい。

二人、軽く手を振って別れる。

雑踏。歩き出す人々。

生方 当時付き合っていた彼女は買物が好きでした。もうそれなりに付き合いも長かったんで自分が
ああいっお店を苦手だったこともちゃんとわかってくれてたんです。

毬井2が登場。毬井2は武田役の俳優が演じる。

行き交う人々、道路を眺める毬井。

毬井2 道路の向かい側を眺めながら、自分はまた死の方についてきていました。昨日観たサスヘ
ンシドラマに出てきた死に方がいかにもって感じだったんで、もうちょっとポップな死にはないも
んか、っていろいろイメージをひらませました。たとえば、んー、たとえば

毬井1 駅のホームにぼんやりと居た、大きなお坊主みたいな女子高生たち

毬井2 とか。たとえば

球井 1 音楽に合わせて次々爆発してゆくサブリーマンたち、

球井 2 とか。

球井 1 そんなこと考えてる自分の目の前で、事故が起きました。

音響・効果音。車の急ブレーキ。衝突音。

球井 2 ママチャリがホンダ・フィットでぶつかって倒れ、倒れたところを下の自動車の大型トラックに踏まれてしまったんです。

俳優、動く。

球井 2 ママチャリの男は下の自動車で頭を踏まれてしまったみたいで、頭蓋骨の中からフニートークラがいつべんに飛び出したみたいになって、潰れて混ざってさあ大変、といった状態で、どっ見たって助かる感じじゃあなかったんです。

音響・救急車。

球井 2 すぐに救急車と2台のパトカーがやってきて、トラックからは運転手も降りてきて事情聴取が始まりました。

球井 1 ドキドキしていました。人が死ぬ瞬間を見たのなんて生まれて初めてのことがあったし、それより何より、目の前で人が一人死んだっていつの間に、それと何の関わりも持てなかった自分に、とにかくびっくりしたんだよ。

球井 2 人ひとり助けるためなら多少の犠牲は覚悟すべきじゃないのかいや、そんなもの所詮、偽善にすぎない、助けるか？ やめとけって、助けよう、見捨てたまえ、ドブッてんじゃねえよ、や、早まんなんじゃない……

球井 1 とか、びっくり高藤みたいなものが、まったく起きなかったんです。「死」は、完全に自分を追い越していきました。しかもいつも待ち構えていて、絶対に見逃すはずはないと思っていた「死」としてのものは、いつも簡単に、あっさりと自分を置き去りにして去ってしまったんです。

球井 2 やがてわずかな事故の残骸を残して道路は元の状態にもどっていききました。「まるで何事もなかったように」。こういう表現は、こんな時に使ったな、そう思いました。

音響、直前の台詞最中に曲out。

いったん無音状態になってから、SE・雑踏音。

村瀬、登場。花束を手にして出る。

村瀬 1 いめんね遅くなって。何回か電話したんだけど……。

球井 1 おし、こーいこーいお別れよ。や、そんなアツい

村瀬 一時間で戻るといついたのだね。なのにあたし一時間以上買物して…。『悪だよホント。』
「じめなね。」

球井 一 一より別に怒ってない。それより聞いちゃ、なんかまだびびり付いちゃったけど、おき
俺のチヨ一目の前で事故があつてさ、して、あわ？、何しつしたの？

村瀬 「じめなね…。本当に「じめなね」…。」

村瀬、泣いしてん。

音響・曲 in

球井 一 おーい？、ちよっ。お、え、聞いしてますかー？、あわ？、おーいちよっ。

球井、村瀬に呼びかけるが聞こえていない様子。

やがて村瀬のそばに、女の友人が近づいてきて、そっく彼女に触れる。

村瀬、手にしていた花束を球井の足元に置き、友人と共に去る。

球井 2 気がひい自分、ひとりきりになってしまった。あんなに大勢いた池袋の人たちはみな
どうかくいついしまったらあ。

ガードレールに座っている球井。

球井、何も出来ずに全然いついさぬ、なまじも（たっくん）がやっひい。

たっくん どうしちゃった、ショックだろっけ、元氣出せよ。ホラ、妻チヨ「おめなね」。

球井 一 いや、あ…

たっくん わかるぜ気持ち、わかるよ。

球井 一 えーと、あ、誰？

たっくん ん？、俺？、たっくんだよ。

球井 一 や、「たっくん」知らないんですけ、

たっくん ま、ちよっいついさぬだけおね…。「どうちゃんな、死んだんだけ。」

球井 一 死んだんだけっ…「え、どう？」

たっくん どうして（笑）。「オイオイ（小さく笑ひ込む）。」「どうちゃんな時間（いつい
つてんだろ？、それがそつちも動揺いつてもんだ、いいかい？、時間のは生きる間に流れてい
んだろ？、どうしちゃんなはもう死んでから時間とか関係なんだよ。ホラ、妻チヨ「おめなね」。

球井 一 いや、食いなさす妻チヨ」。それよりあ、

たっくん 一応いついさぬ、どうちゃな？。

球井 一 なんかあ。

たっくん 逃げられないぜー。や、わかるけどな。逃げたいよな。うん。そりゃたっくんだけ
逃げたい。どうしちゃんだって逃げたい。やっ、俺たち気がどうっ。

球井 一 はっ？

たつくん いづからこれ持ってけよ。こいちゃんのどろ。

といつて、たつくん、先ほど村瀬が置いていった花束を渡す。

毬井、後ずかる。

たつくん ほら、彼女さんがせっかく、あ……

毬井、花束を持ったまま、走って逃げる。たつくんはける。

音響・曲のりかえ。

以下、群衆を使った演出。

録音された音声テープ、のようなセリフが波になって聞こえてくる。

時報や、株価の読み上げ、競馬中継、津波注意報、天気予報、などない。

毬井² なんだかよくわかりませんでした。よくはわかりませんでしたけど、逃げました。とりあえず逃げて、とりあえず家に帰って考えようって、そう思って駅に向かったんです。当時自分は下北沢に住んでいましたから、とりあえず新宿に行こうと思って山手線のホームに向かったんです。が、そこにも、誰ひとり人がいませんでした。それでも山手線は当たり前のように走っています。乗客の誰もいない新宿・品川方面の列車が六番ホームに滑りこみ、僕だけを乗せるとドアを閉めました。ゆくり走りだした山手線の車内で僕は、なんだかとても落ち着かなくなっ、ずっと窓際に立って新宿に着くのを待ちました。新宿になら誰か人がいるかもしれない。新宿になら、他人のことなんて一切関係ないように続いていく「動く歩道」みたいなあの日常が、今も変わらず続いていてくれるかもしれない。そう思って新宿を待ちました。

毬井¹ けれど列車は、いつまでたっても新宿にはつきません。池袋の次は池袋。その次もまた池袋。

その次もやはりまた、池袋です。世界にはもう池袋と僕しか残っていないのかもしれないかも。いや、というより、僕が、僕と池袋の方が、世界から跡形もなく、何事もなかったかのように消えてしまったのかもしれない。いや、そんなはずはありません。けれど列車は、三つ目の池袋を過ぎたあたりから、駅に近づいても速度を落とすことはなく、むしろ徐々にスピードをあげて、山手線、新宿・品川方面の列車は今や信じられない猛スピードになって、次々に池袋駅を通過してゆきます。無限に数珠つなぎになった池袋駅を、次々、次々……。僕はよろめくフラフラの足どりで、なんとかシルバーシートに腰をおろし、今、目の前で起き上がっていることがなんなのか、それを確かめる方法について考えました。

毬井² そうしてそれを確かめる方法が自分にはもう、何ひとつ残っていない。

毬井¹ といつて何がやがてはつきりわかったんです。

一人 そうしておぼろげに

毬井¹ 僕は死にました。

群衆の動きが止まる。

毬井「それが、生まれてはじめて死んだ時の思い出です。」

シーンが唐突に終わる。

音響・毬井のセリフ後半はマイクで集音。同時に楽曲。

背景的な音声として、録音テープ風の話し声が帰ってくる(俳優)。

希望的 水野家・2

場面、水野家に戻る。

チサト ハイ、もうおしまい。やめよう日は。なんか今日の記事すっごくインだもんなんか。……た
まにあんの、ごうごうインなとき。「僕は死にました」って、じゃあ、それ書いてんの誰だよ、みた
いなぞ。なんかすっごくインなんだよね。あーあ…。

少し離れた場所から生方が声をかける。

生方 チサトさなこれはあの、全然もしもの話なぞだよ、

チサト ……。

生方 もしあの、130blogを書いている人と連絡が取れて……ってことになったら、その人に会いたく
ないですか？

チサト、無言。少し動いて生方との距離を確認しなおす。(トコト)

チサト 何、勝手にクビ突っ込もうとしてるわけ？

生方 いや、あくまでも例えはしてこの話なぞだよ……

チサト @最初にごうごうしたけど、あたくし別に理解してもらおうなぞって思っただけだから……

生方 すみませぬ……。

水野 やっほ、ちやっしゅっは理解してごうごうだよだよの……あ、あ、あ……、
気持ちほわゆるなぞだよ、

チサト @ありがう。……じゃあ、気持ちだけわかってほしいなぞごうごう。

水野 もうちやっしゅ、ちやっしゅ……

チサト いやー……。あたくしお姉ちゃんがいじわる放言してたから……あ、あ、あ……

水野 @それは違うでしょ全然……

チサト 何が違うの？ 一緒でしょ……

水野 だってあたくしの……いじわるなぞ……。

チサト @なに？ あたしの言っていることはメチャクチャでお姉ちゃんの話しているとは違う？
そう思うからお互い認め合いましょうか、そう思うのが一切できないじゃないお姉ちゃん
めいめい？

間。

水野 じゃあーしただけ確認させて欲しいんだけどね。
チサト なに？

水野 あんた毬井くんの死に顔を見てるわけだよ？

チサト だから死んでませぬ？

水野 でもその、安らかに眠っているようにしか見えぬ？

チサト それがなに？

水野 ちゃんと覚えてるよ？

チサト 覚えてるけど。

水野 うん、だったらさ……（そのプログラム書いているのが彼じゃなくって誰か？ってことじゃ
ないの？）

チサト @ま・でも泣いてないから。

水野 泣いてない？

チサト そっすっすっ、泣いてなくてあたし。そりゃ見たけどね毬井くんの顔は。だけど、毬井く
んの顔見て泣かないとかってなんかありえなくない？

水野 泣いてないから、なんだって？

チサト @や、おかしいじゃん。だってね、あれがもし本当の本当の毬井くんの顔だったらもう、
件反射でいうか、自動的に涙出ちゃうと思うし、そんなの我慢とかできなわけない、そりゃもう
しょ、だって普通に考えたらひや、

水野 じゃなに、あなたが泣いてないから、毬井くんはまだ生きてますって話？

チサト だって生きてるじゃん（パソコンを示して）？ 今日更新されましたって、それ十分生
きている証拠にならぬ？

水野 でも、そんなの、誰か代わりの人にだして書けるわけですよ？

チサト わかっているよあたしだって。わかっている。誰か知らない人が成りましてんじゃないか
私だっと思ってたけど、むしろすっぱー気持ち悪いやうがいてサイアクか思ったけど、でも内容がね
……。もうしょうがないんだよだって、これは毬井くんが書いてんじゃないや意味、全然わかんない
ってレベルなんだもね。ずっと読んでたらなんか、毬井くん本人が書いてんじゃないかって気がして
きちゃって、それ以外ないじゃないかって思えてきちゃって……。

希望的 水野家・3

と、いって水野家の母が部屋に入っている。

生方を接待するためのお茶菓子的なものを持っている。

エル・ツーフィンガー? 「実家は実家でも、ちょいワル紳士の隠れ家的な実家です」っていついつ演じたのに、

チサト @まったく必要ないそんなの。

水野 ホントいいからもう、どっかいつて。(生方)ごめんさい、ホントもう帰らせませうぞ。

母 おおっと・ナイス・コンビネーション・シスターズの登場か? そんな、ゴージャス・プロポ

ーションのマザーは退場か?

水野 退場だよ

母 そんなじゃごめくりー。土方さん。

生方 @生方です。

母、はげしめ。

水野 えーと、なごじったつけそむび……、

母 @尖閣問題についてじゃなかった?

水野 @だからいーよもう出ていー

母 いーじゃない一緒にいーるごだつて、ねえ?

生方 ええ、僕は別。

水野 もオ……、

チサト、コートを着て、外へ出て行く様子。

母 なにあんだどこか行くの?

チサト その人帰るまで外出する。

母 やめときなさいよこんな真冬に警備員じゃない警備員じゃない警備員じゃないんだからあんだ、

チサト 外っていったって別に、家の外だけ、どっか部屋の中だよ、

母 なあにそれ? 家の外だけ部屋の中なぞなんだって……電話ボックス?

チサト ガストだよ。

母 よしきた。ガストだったらポイントカード持って行きな。(財布からカードを取り出して)

チサト いーよそんなの、

母 @いいからお母さんのだからもっつきなつて、ね。貯めておいて。

チサト え、使っちゃダメなの?

母 ダメだよ。集めてんだから母さん。ね?

チサト わかったよ。

母 じゃ行つてらっしゃい、はいはい。

チサト、退場。

水野 すみませんもう、家族総出で失礼を……。

生方 いや、びっくりました。あんなにバーって話されると思ってたんで、

水野 ですかね、

母 歯に衣着せないからねあねは、水野家のジャック・ナイフって呼ばれたから。別に、おせち。

水野 別名遣いますねんかいよっ……

母 じいとも汚いわねホントにこの部屋。(生方)を、まもむおはね、この子なたかよひひんぴんサトウがキレイ好きだったんだけど、もーね近頃は……、

生方 あー、やっぱり気持ち的な問題といつか……

水野 まあ、ホフ、結局、毬井さんいなくなってから仕事も辞めちゃってるわけだし、生方 はいはい。

水野 いろいろ整理つかないっていうのはあんじゃないかな、

生方 お仕事は何をされてたんですけどっけ？

水野 飲食関係。結構がんばってたんだよね？

母 そうそう割と出世してね、なんか店長より偉い、エリア……チャレンジャーになったって、生方 マネージャー……。

水野 ほっとんど休みなへん……。

生方 あー、大変だっついいますもんね。

母 で仕事辞めたあと彼氏くんとも別れちゃったでしょ？ ちよいとしたイケメンだったの。ねえ？

水野 んー、そうだったっけ……。

母 そうだったでしょ、ちよいイケよ、ちよいイケ。

生方 あの、ちよっと無神経なけど聞くんがうなむむむ……、

母 あー、あなたもちよいイケよ。大丈夫よ。

生方 あ、あ、ちよ、そうじいじいじゃなくて、あの……毬井さんてのは何回かおいへんのになっただけですかね？ 病気が事故か……。

水野 んーとまあ、それはね、

母 自殺？

水野 違うでしょ、事故だっついってたじゃな。

母 あんなもん自殺みたいなもんじゃないのよだっけ。

水野 わかんないでしょそんなこと。(生方)になんか事故だったみたいなのですかね、あんなり詳細にきけば私は私たちがわかるくらい、

生方 そうですか……。

母 いずれにせよあの子が自殺だと思っちゃってるっていうのは確かよ。

水野 まーねえ……。ま、ま、あの子ならいかに、また仕事はじめてらなむむむ、ちよっしんぴん動機は……

生方 確かに思ったよりは全然元気がいつか、話せる感じでしたね。

水野 あ、そっ？

生方 はい。一本スジが通ってる。

水野 そっなの。だからそっ？って、頭がおかしいみたいないじやないとは思っただけであつても、生方 それは絶対、違いますよ。

母 や、おかしいと思っ？、あの子は昔っから。

水野 お母さん！（黙ってる）。

母 お父さん！（口調を真似て、誰もいないところへ向けて）
いないでしょ誰も、なに？

水野 そっだった、お父さんはあたしが兼ねてるんだって、ウカツウカツ。

水野 @いーからそれは、それあの、生方さん（こっ）、お願いがあるんだけどお父さん、

生方 はい？

水野 あの、突き止めてもらえないですかね、その、毬井さんに成りますまじってブログをずっと更新、
てっ？入、

生方 んー……。なるほど。

水野 あたしそっ？いつのあんまり詳しくないんで何を調べたらいいと全然わからなくて……。。

母 ーPADレスよ。

生方 うーん、まー、とりあえずブログの運営会社に連絡とってみたりとか、ま、あとは直接メール
しちゃったりとかかなあ、うーん……。

水野 探して見つかるものなんでしょうかね、そっ？のこっ？

母 ーPADレスで全部わかったやつんだから。

生方 わかんないですけど、とりあえずじゃあ、ダメなだけやってみますよ。

水野 ホントですか？

母 いいガッンだ。

水野 @お母さん。

母 お父さん、お兄さん、お姉さん、

水野 わ、あ、返りました。

生方 ……染っ？（こっ）家じ。

水野 何でもいじやりましたらあたしも又、手伝いますよ。

生方 まあ、僕自身はちょっと興味湧いてきたっ？のこっ？のもあります。

水野 ああ、そっですか？

生方 だってへんな話ですからね、そんな、死んだ人の日記を書き足してっ？なとて……。。

水野 そっですかね……。

母 誰か書いてっ？しよっ？ね。

母 それをーPADレスで調べよ。

片響・由fade in。

場面転換。

送信

送信 寸止めの女と雇いっぴり男・2

オープニングと同じ位置に一平と女が登場する。

女 冷えるね、今日。

一平 そうだね。

女 外、寒かったでしょ？

一平 うん。でも昨日の方が寒かったかな。

女 うそ。今日がこの冬の一番の寒さだっていつたよ。

一平 ああ、そう？ そうなんだ。ふーん。

女 鈍感だからなあ一平は。

一平 まあ、気にしてないからねそんなに……。

女 それでさ、ホントは誰が書いてたわけ、あの日記？

一平 うん？

女 死んだと思ったら生きてたっていうお話、

一平 ああ、あれね。うん……。

女 ねえ、誰が書いてるの？

一平 それはまあ、まだはっきりとわからないんだけど、

女 あの毬井くんっていうのは車にひかれて死んじゃったんですよ？

一平 死んじゃったんだけどね、でも一人の毬井くんが死んじゃったと、別の場所から別の毬井くんが
出てるんだ。

女 へー、じゃまだ生きてるんだ？

一平 そうだよ。まあ、ある晩おそく、毬井くんが死んで手紙を書いたと聞いたんだよ、チサトさん
っていう人が、

女 手紙って、え？ もう住所もない人に向かって？

一平 そう。書いたんだよ、手紙。

音響・曲：三

一平 それはね、彼女が毬井くんと会えなくなってから初めて書いた、彼のメールアドレスに宛てた
手紙だったんだ。

送信 チサトのメール・1

チサトが何かを書いている。

音響・携帯端末のクリック音？ ボタンを押す音？

舞台上別の場所に蹴井もいる。その姿が照らして出てくる。

以下のチサトのセリフはチサト役俳優によっては発話されない。

チサト 1 本当にお久しぶり。蹴井へん、元気じゃないですか？。ハ、書いのも入んな感じがします。
チサト 2 なにせ蹴井へんは世間的にはもう死んでしまってるからだよ。
チサト 1 私のこのメールもちゃんと受け取ってくれる人がいるのか少しだけ心配です。書き終わる
1分間まだ、1分の手紙を出した瞬間意識が残った瞬間かよいか、どうしようもない心配
だよ。

チサト 3 それでも1メールの返信は、

チサト 2 あんなはやく返信の返信は、

チサト 3 むしろ私の1分言葉とか、

チサト 2 思ってる、

チサト 3 なんじゃないかを教えてくださいたいわね人がいると言いつつ、1分言葉をしめされた瞬間思ってます。

チサト 1 単に吐き出したいただけなのかもいいかもしれません。

チサト 3 そっぴんって聞いてたらコメントナサア。

チサト 1 なにやら蹴井へんもあたしをめぐって関係は、としゃべってます。蹴井へんも別た
をし、そのあと蹴井へんに新しい恋人が出来る、あたしにも新しい恋人が出来る……。なんつう
お話をした時よりも、なんつうよ。

チサト 2 あの頃は蹴井へんがまだ生かしてさ、

チサト 3 どうしかかったのもちろん生かしてさだよ、

チサト 2 少なくとも誰もそのことを否定したりなんかしなかった。

チサト 1 蹴井へん、日々1分言葉を更新してさ「蹴井へん」って伝えます。あたしは、蹴井
へんはさかしたんだよ。

チサト 2 会いしよくなるのかはわかりません。会えなくなる前には知らないとさうを聞いて適当にさ
はせよ、会えないうちかかった途端、誰か1分な1分を1分のおおかつのかもつたかもしれません。そっぴん、会
えただよ。

チサト 3 ちひつねはななとも構いません、気が向いたらいつでもお返事ください。

チサト 1 期待はしないで、さびしい待ってさういふこと思ってます。

チサト 2 半分私を、相手についてさよ。

チサト (……送信、)。。

音響・雑踏の都市を巡るダンス。

2 破 本人・犯人

返信

返信 毬井の手記・3 『車内』

ダンス終わりで水野が残る。

生方、登場。場所は相変わらず電車の車内でのいいのかな。

駆け込み乗車。滑り込みで電車に乗った一人。

生方 間に合いましたね。

水野 はい。

生方 あのこと……こないだまた毬井さんのブログ見てたんですけどね、

水野 はいはい。

生方 なんか誰かがですね、あのブログの作者に対して、メールみたいのを出したらしいんですよ。お手紙でいつか、あの、成りすましの犯人に対して……。

水野 へー、そっちなんでしょうか？

生方 はい。そのメールに対してのお返事、みたいなものがブログにまたあがってたんですけど、あの、ちょっと、読みますね。(うろって携帯電話で当該のページを開く)

水野 はいはい。

生方 ……「数日前、死んでいる僕にわざわざメールをくれた人がいました。なにはともあれお使いの嬉しかったです。じつもあるが……」これもしかするともメール出したのってササ下さんじゃない

か？ 悪いんですけどね。

水野 そんな何とですか？

生方 はい。「……」『お返事』うろってお願うた答の内容のは難しそうです。だって僕は……」

水野 「死んでいるから」……。あ、まるでそのスタンスなんだ……。

生方 みたいですね。

舞台上、別の場所に武田。

毬井₂ ただ、別の書き方をさせていただきます。僕たちが死んでから、うろってさんじゃなくって、僕が生きながら生きていけるように書いてほしいかな、って、

毬井₁ もともと、生きていけるって活動の中で、自分が声を出したり、歌を歌ったり、電話をかけたら、り、メールを送ったり、うろってさん、うろってさんが命を救ってくださったこと、死んでからも自分は生き続けることが可能なのか……。

毬井2 だって僕が歌った歌は再生ボタンを押せばいつでももう一度歌い始めるだろうし、僕のメー
ルや、

毬井1 文章や、

毬井2 声や、

毬井1 言葉は、この肉体を離れて何度でも再生される。

毬井2 だからこうして、僕は死んだためでも日記を書き続けることが出来る……。案外と僕はすで
に、

生方 不老不死なのかもしれない……。て、どう思います、水野さん？ あれ、寝ました？

水野 いや、そんなことば。

生方 え、絶対寝てましたよむしろ。

水野 寝てません。おそろしいの成りすましての犯人をとばすね、どう思いますか？

生方 はい。

水野 ……どうして電車はこんな眠くなるんだってんのか。

生方 真面目に聞いてくださいよ。

水野 いめえいめえ……。

水野、生方、退場。

ここから回想シーンに入る。

訃報

ネット墓地

音響・電車車内のSFX。@高田馬場。

毬井、佐川、武田、吉久、生田目、五戸が登場。

以下、満員電車の車内での雑談。人がぎゅう詰めになっている。

吉久 なあ、「ネット墓地」っていうのがあんだけど知ってる？

生田目 なにそれ、

佐川 ネットばっか？

吉久 墓地墓地、お墓だよ。

佐川 ああ…。

吉久 いや、なんかインターネット上にお墓を作っちゃ、ここが誰それの墓ですよ、みたいなページ
を作ってくれるサービスなんだけど、

武田 へー。

吉久 まあ、ホームページみたいな。

佐川 はいはい。

針谷 それあたしも聞きたいよあらまあ。

吉久 なんかつちの親戚のおっさんがさ、もう墓なんか時代遅れだー、っつてさ。ネット墓地買っ
か言っつて。

佐川 へー。

針谷 え、買っつて、お金かかるんですか？

五戸 そりゃそつだろ。いろいろ管理とかしてくれるんだからさ、

針谷 管理かア。なるほど。

佐川 て、じつはいらすねむやっ。

吉久 やー、そんな詳しくは知らねえけど、五十万べらいつつてたかな。

佐川 ええ、なんでそんなかかんの？

五戸 や、だから管理とかするからだろ。

生田 @ポッタクリだるどうきえても。

吉久 そんなこと言ったら普通の葬式だって大概ポッタクリだつっつじゃねえか。

針谷 え、お寺がやっつてるんですか、それ？

吉久 そつてっ。

針谷 へー。

生田 がっちり商売すんな、おい。

佐川 戒名とかもあれ良い商売だよなホント。

吉久 あー、いくら払っつていい戒名がもらえて、とかあんだろ？

生田 適当じゃねえかよな、あんなの。

吉久 仕入れ値とかないしね。

佐川 はは。戒名仕入れてたらやだな。

生田 イチバとかでな。新鮮な戒名ですっつてっ。

針谷 ありがたみないっすね。

電車が急カーブしてが人々がますます押される。

五戸 や、でも結構さ、死んだあとネット上のあるこれっつてっつんだとか思わねえ？

佐川 なに、どつなんだっつてっ。

五戸 いや、ミクシーとかね。

針谷 ああ、

吉久 ブログとか？

五戸 ああ、このっつてっつなっちゃっつたっつな、

生田 まあ、ほつたっつたっつそのうち消えなじゃねえの。

五戸 や、勝手に消えなっつたっつたっつてっつてっつな、あんなかかすっつてっつな、あんな。

針谷 いいじゃなっつつか別に、死んでたっつたっつつかかかすっつつかかすっつつか。

吉久 や、でも普通に考えたら結構残らっつな、

生田 シッターとかもね。

針谷 やーシッター消っつてっつたっつた。

五戸 や、俺それで思ったんだけどさ、まあ、例えば俺とかがある日突然死んだとして、その、死んだあとじぶんがきこえたかあったら怖くねえ？

針谷 おー、不気味。

佐川 ていつかツイッター俺へのわかんないだけじゃ

生田目 「臨終な」とか。

五戸 いや、それはきりぎりしけんじゃん、もっとなんかさ、「納骨な」とかや

針谷 「初七日な」と

吉久 「明日、善光寺にて俺のお通夜ついで」

佐川 全然話が見えていねー。

五戸 じぶんがだ、じぶんが。

佐川 ふーん。

生田目 じゃあさじゃあさ、ちょっと俺らペ、ブログとかのパスワードなんかをどっかに控えていてさ、誰かが死んだらしばらくはひらひらさうの代わり更新してみよう。

針谷 えー、なんですかなんですか、

五戸 生きてる間に探め事おきそつだよ。

電車が新大久保駅につき、吉久、五戸、生田目、佐川、針谷、電車を降りる。武田と毬井は残る。

五戸 そんなじゃ金貯めつけよお前ら、

武田と毬井、その場に残って。

武田 どう思うさの？

毬井 え、何が？

武田 なんか話してたじゃん、死んだあとにパスワード教えていってーとかって。

毬井 ああ、言ってたねなんか

武田 どう思う？

毬井 すげーおもしろいな。

武田 すげーおもしろくなるとさうに言っちな。

毬井 そう？ ま、こんなもんだろ俺。

武田 そんなじゃ教えるよお前。

毬井 やだよそんな、あぶねえだろ？

武田 大丈夫だよ誰にも言わないから絶対。

毬井 お前が一番信用できねんだよ。

武田 なんだだよ。じゃあ俺も教えるからいらんわ、

毬井 ダメダメ。

武田 なんだよノリ悪いな。

毬井 ー。そんじゃ遺言を残していよう。

武田 え？
毬井 なんか俺が死んだらこれとこれのパスワードを武田に渡してこれっていいか？
武田 おー。じゃ俺もそうしていいか？

音響。電車が新宿駅につく。毬井が下車すべき駅だ。

次のシーンのための白井、みいを含む数名が乗車。

毬井 そんなじゃ武田。死んだらお前、ちゃんと更新しろよ？

武田 何年後の話だよ。

毬井 いいからわかった？

武田 おう。お前もな。

みい ショウちゃん。ちょっと聞いてんの？

乗客たち、いっせいはけていなくなる。
照明変化。

訃報 プロポーズ

場面、武田の家となる。くろくろ男女三名。

恋人同士の二人（武田とみい）と武田の後輩（白井）。

白井 ぼーっとしてますよ武田さん、

武田 おお、フリーフリー。

みい でな……、男の人の場合やったら「娘さんを僕にください」やる？。それ逆パターンやったらなんていうの、て聞いたら、（武田が）おかしいおかしー言うんやぞ。

白井 へー？

武田 だってまだ決まったわけでもないのよ。

みい でも普通カン違いするやん。なんか、「両親と会わせたいとかゆわれたら、あ、なんかそーいうことなんやるかーと思わん？」

白井 んー「結婚」ですかあ…、

みい そーやあ。

武田 大げさなんだよ、ふじーに会ってもいじやん別で、

みい でも「両親そーいうてやぞ？」てじいしっ？

白井 みいさん、でもですね、俺、武田さんの「両親と俺と、三人で焼肉食ったことありますよ、なんやそれ！ 意味わからん。

白井 いや、最初四人で食ったんですけど、また武田さんにすっぴんかえって、

武田 あのこと、すげえ気に入ってたよお前のじい、

白井 あー、なんか年寄の受けいいんですよ。

武田 なんか実家帰るたびに聞かれたんだよ、白井へさしついでに聞いて。
白井 あ、マジすか。

みい てかその話でどーでもえーやろか！
武田 ええ？

みい どーでもええやろ。1回親のいじはあったらおらうしよ……シヨウちゃんをばいし思いしんぢわ
け？

武田 んー、そのまじいつい年だしなあ、

白井 そつすねえ、

武田 だからまあ、あれだな、

白井 @ちゃんご審えなごしよ。

武田 @それだな。

みい なんかバカにされてる気がするねんけしよ。

武田 でもあれだね、結婚の話好きだねみいちゃん。

みい @全然結論が出ないからどしよ？

武田 まあ、そつかそつか。

みい @や別に、そんなあたしかてしよしつてもせなあかんしわはやなごしよ、じゆつか、せえへんな
らせえへんで全然ええんやけしよ、ん——、やめよつかこの話？

武田 え、なんでなごしよ？

みい なんか無駄に重いよなあ、と思っしよ。1じゆんなごか。

武田 いやいや、別に無駄じゃなごしよ。

みい やでもなんか、いじよじゆん。

武田 全然わかるしな、思っしよんじゆん。

みい うん……。

武田 ……そんじや、あれだな。してみつか一回。

みい えつぞ。ホンキどしよ？

武田 ホンキホンキ。

みい でも、一回してみよつかって何回もするみたいやない？

武田 いや、そんなしもりないけど、だからあれだよ。結論から言ったら結婚はまあ、しつてみつか
な——とは思っしよんぢ俺せ。

白井 んん…。

武田 そんな感じ、かな。はい。

みい え、その言い方で大丈夫？

武田 ん何が？

みい や、ええんやけしよ、全然あたしは。けどなんか、えーと一応、プロポーズ、ですよねこれ？

武田 だね。

みい あれ、伝わらんへん……。結構あの、大事な一言っていつか、ま、ターニングポイントんなるわ
けちゃん、あたしらの人生じゆんじゆん。

武田 そつ思っしよ、俺せ。

白井 俺……帰りましようか？

武田 いやいや、いーいー全然。

白井 そすすか？

みい 今……、結構いい提案してへれたと思っただけで彼

白井 やっぱそのすすすやわね？

武田 いいって、え、さっきの言い方で、何がダメだったわけ？

白井 帰りますか俺、

武田 いや、いっついでいいとをじゃねえかお前。

白井 や、だってなんか、

武田 それじゃお前、なんか俺が帰らせたまいたいけど。

白井 ま、実際どうじゃないますか。

みい @おったらええんちゃうおったらええんちゃうおったらええんちゃうのそしたら？

白井 ……すませろ。

みい、少し移動して、

みい なんやろなあ、なんかそういいうんやねちゃうとあても「ちょっとなあ」ってこのはあ
るよなあ、

武田 なに「ちょっとなあ」って？

みい だってなんか「しかもいいよ結婚」って言われちゃうと、えホラあたしの側が「ぜひお願いし
ますっ」「みたいなとになっちゃうやろ？」
「へださる」「あげます」「みたいなとになりつう関係になりつ

か立場について。うん？

武田 立場が考えたことないな……。

白井 考えたほうがいいですうか加減。ねえ（みい）？

みい 知らない。

白井 あね。

みい やっぱ帰っても戻った方がいいと思っ

白井 なー、マジすか？ じゃ、キア……、

武田 いーいー、う、思っついで、

白井 いや、せ、

みい 帰ってもらったらええやと

白井 帰ります帰ります。

武田 ちょちょちゅ、わかったよじゃあ、だったらお前を、ホラこれつけて、な、これでも聞いてくれ
「みいさん」<シリアスな>を白井の耳にかかせる。

白井 ええ？

武田 あ、ほーら。これでもいい音楽じゃん。素敵じゃん。な？ スチッチをいれろ、ホラ。

白井、以後、少し離れて音楽を聞いていこう。

メール内容を確認した後に武田の様子が変わる。

みい、それを見て取って様子をうかがう。

武田、ふと白井の方へ近づき、

武田 ……おい…おい、（音楽「夢中」になっってる白井「音」をかける）

白井 はいはいはい？

武田 ちょっと思いただけじゃ、

白井 やっぱいいっすね、米朝は。

武田 ……落語？

白井 はい。

武田 いやそれはいいけどもさ、悪いんだけどちょっと帰ってまじろってまじろかな？

白井 え…、じゃ、今日はターニ行かないたっすか？

武田 あんま遊んでる感じじゃなくなっちゃっし、

白井 そうっすか…。あれ…じゃあ、俺、何待ち……だったんですかね？

武田 いめたいめたいめえ。今度、なんかお詫びするのよ。

白井 じゃ、まあ、はい…。そんじゃ、また…。

武田 うん。いめえね。

白井、はける。

みい なんのメールだったの？

武田 いや、友達がなんか、死んだ。

音響・曲：川

みい ……ああ。

武田 や、お前は知らない奴だけど、あの、毬井って、

みい 仲いい人やったん？

武田 ……それなりに。

場面転換。

訃報 参列

場面、毬井の実家のそば、外で溜まっっている面々。

武田をはじめ毬井の友人たちがいる。吉久、五戸、佐川。

喫煙スペースにタバコを吸いに来ているようなイメージ。

武田 え、葬式出さないの？

吉久 おう。なんか今日のこれで終わらしてしま全部。

武田 そっなんだ？

五戸 というか、そもそも俺達と呼ばれたのもなんかの手違いだし、

佐川 奥にいんのは親族だけって感じたもんな。

五戸 そっそっ。

武田 あーそっ？

吉久 や、なんか遺言状にそっ書いてあったんだっけよ。お通夜も告別式も徳仏会もなーんもするな
っ。

佐川 じゃあその、火葬だけしておしまい、って？

吉久 違う違う。

五戸 なんか献体に出すんだって遺体は。

武田 献体？

五戸 そう。だから今晩過ぎたら遺体もどっかいっちゃうんだって、

佐川 え、なに献体って？

五戸 なんか医者の卵とかが解剖するためのさ、

佐川 あー、

五戸 いったじゃないん？。どっせ死体になったらそんな物体に用はねえみたいなの

吉久 何かのお役に立たせるのって？

武田 そっか……。

少しの間。

佐川 でもホント急だったからなあ。他のヤジなんか集まる暇もなかったじゃないか？

五戸 でも準備はちゃんとしてたんだっけな。

佐川 あ、そっ？

五戸 遺産のこととかも、すっごく詳細が書いてある紙があったらどう？

武田 へー。

五戸 あっで武田も見んきたらどう？。

武田 あ、毬井が書いたやつ？

五戸 そっそっ。

吉久 なあめこれさ、毬井の骨ってのはどうかなあわっ。

五戸 ン？ ああ、献体のもじゃない？

吉久 そっそっ。

五戸 何年かしたら戻ってくんだって。

武田 そんな時間かかるんだ？

五戸 解剖してさっさと埋めようか？。いや、まあ、さっさと埋めようか？。……。

佐川 死んでからも順番待ちかあ……。
吉久 なんかこうあっさりしてると、かえって引きずっちゃいそつだよな。
五戸 案外、毬井の狙いだったりしてな。
武田 え？
五戸 普通の葬式やって、普通に死んだ、ってことになんないよついで、
吉久 そんな複雑なことするかよ。

音響・曲：三。

場面転換。

訃報 帰宅

場面、再び武田の家。

武田、部屋で疲れてごろ。

部屋の奥からみゆの登場。手提げ袋のよじなものを持ってくる。

武田 あーあ……。

みい なんか作ろうか？ 食べる？

武田 んーありがと。いやーいや。

みい うん……なあ、シヨウちゃんこれなに？

武田 ん、あー、なんかいらんもの、贈り物をせしめたの。

武田、手提げ袋の中から一冊のノートを取り出す。

みい そう。なにそれ？

武田 や、うーん……なんかノートとかいらん……。

みい ノート？

武田 日記帳みたいな奴とか。あとはまあ、パスワードとか？ そういうの一式。

みい ふうん。パスワードで、銀行でお金とか下ろせたりするん？

武田 いやいや、そういうわけじゃないんだけ、

みい なんか怪しない？ 怖いわなんか。

武田 うん……。どっすつかなあ、こんなせえ。

みい なんてそんなまじへへれたん毬井さんほ？

武田 なんてってまあ……。約束、だったからかな……。

音響・曲：三。

場面転換。

場面、毬井の手記。

毬井、登場。舞台上の別の場所に武田も残っている。

毬井 自分が死んだのは一月の二十日、大安のことでした。今に思えば、父さんの死が何かを暗示していたのかもしれませんが。父さんが死んだのはちょうどその半年前の友引の日、七月二十日、海の日でした。

音響・波の音。

波の音とともにたっくん、父、登場。

たっくん おっす。

毬井 おす。死んだ人間が死んだ人間の回想をするなんておかしい話ですが、いいじゃないですか自分の父さんの話をさせてください。

たっくん ちよこちよこ、

毬井 はい？

たっくん、毬井に耳打ちをする。

毬井 あ、わかりました……

たっくん、無音ながらも誠意を込めて謝罪する。

毬井 父さんの話はともかく、

驚く父。毬井の顔を見る。

毬井 父さんの話はいもかく、

父さんが舞台後方に下がる。

毬井 自分の話をせつじふ、

たっくん 今日はいいちゃんのかわりにたっくんが話さじ。

毬井 え、なごすすか急い、

たつくん　にいちやんが死んだのは、寒さ厳しい大寒の日、そろそろ日が改まるようになっていう夜更けすぎのことだった。いつもいつもい로운な死に方について考えてきたにいちやんだったけど、まさかこんな恰好で死ぬことになるなんて……人生つてのはホント薄情なところが、あるよな。

音響・曲：。

たつくん　死んだ時、にいちやんが身にまとっていたのは裏返しになったロングティーシャツとトリーナー、それにパーカーだけだった。その日、晩酌を済ませたあとで風呂に入ろうと思ったにいちやんは、何故だかわからないがズボンから先に服を脱ぎ始めた。下半身ハダカ状態になったにいちやんは、なんてこった、何を曲迷ったのかシャツとトリーナーとパーカーによる禁断の三位一体脱ぎに挑戦しちまったんだ。なあと調子がいい時のにいちやんだったらそんなことは造作もなかったはず。ただその晩は違ったんだよ。にいちやんは少しばかり日本酒を飲み過ぎてた。友人からもらった出羽桜はじこのほか口当たりが軽々、にいちやんはいつもより一合余計に杯を重ねていたんだ。それが命取りになることも知らず……。

禁断の三位一体脱ぎに挑戦したにいちやんは、その絶頂で完全に行き詰まった。進むも地獄、下がるも地獄、まさに「前門の虎・後門の狼」状態って奴さ。そして、完全なる行き詰まりを感じながらにいちやんの頭の奥の方で、「プツ」て小さなオナラみたいな音が鳴ったんだ。意識がア……、遠のいていくのがわかった……。いつか見たイエロー・フォーみたいに「イヤー」とか「キヤー」とか騒ぎ立てる暇もなく、「ホップ」だとか「アヴァンギャルド」だとかを考える暇もなく、「イカ飯を作る途中の、イカ?」「みたいなべらぼうに中途半端な状態でにいちやんは……、死んだんだぜ。

白井　武田さーん。

武田　あ、ちよっ、ちよっ待って。

証明変化。

たつくん、毬井、父、いそいで退場。

武田　村瀬、来訪、理由。

場面。再び武田の部屋。

武田と白井、白井に伴われて一人の女(村瀬)登場。

武田　あ、えいせいせいせいちひんく、

村瀬　失礼します。

武田　ハイハイ。えーと、あ、村瀬さん、どうよな？

村瀬　はい。

武田　えーと、それと今日はあの、毬井の何かについて聞いて……(白井に)お前、ちよっと飲み物でも持ってきてよ。

白井　ううむはい……。武田さん、ダーリンね？

村瀬 ……ま、でもそんな怒ってるってわけじゃないんですよ。

武田 あ、はい……？

村瀬 今、武田さんに認めてもらって半分ぐらい気が済んだっていつものもあります。

武田 はい。そうですか？

村瀬 でも武田さん、どうしてあんな細かいこと知ってるんですか？ 隅田川の花火いったときに人ごみで酔って途中で帰ってきちゃったア、とか、

武田 ええ、ええ

村瀬 毬井くんにあたしがプレゼントした時計を無くしちゃったときに全くおんなじのを買って隠してたんだけど、それがあたしにバレちゃったとか。たまになんか、これは本人じゃなきゃ絶対知らないだろう、みたいなことが載ってるから……（驚いてたんです）。

武田 あー、それはあの、毬井に個人的なノートというか、日記みたいなものも一緒にもらってたんですよ。まあ、それでちょっとそういうのを参考にしながら……。

村瀬 あー、やっぱりそういうことなんですよね。そっかそっか。

武田 はい、あ、なんだったら読みますか村瀬さんも？

村瀬 んー……。辞めときます。

武田 そっですか？

村瀬 はい。なんかずーっと読んじやいそつだから……。

白井、飲み物を持ってへる。

白井 はい。お待たせしました。

武田 おつおつ、ありがとう。どっぞ、カルピス。あ、大丈夫ですか？ カルピス飲める人ですか？

村瀬 はい。飲める人ですけど、なんかへんな言い方ですね。

白井 じゃ僕も。おつかれさまでーす。

三人、一口飲んでみて、

武田 ちょ、お前じれマシロこじやねえか、マシロこじやねえか、マシロこじやねえかよ。

白井 滑舌いいすね。

武田 すみません、ホント。なんで酒持ってたんだよ、お前。

白井 だって今日、田んぼで仕事してるじゃないか？ 俺、ママタニに仕事したのだから、お前がそればっかりじゃなくすか。

武田 わかったけど、ちょっ、すみませんなんかお茶とか、

村瀬 あ、いいですよ。お酒よ。

武田 あ、そうですか？

村瀬 どうせならじゃあ、あ、じっくり話しましょうか？

白井 おー、そっかいやー田んぼでもいっしょに仕事しよっか？

武田 あ、あ、せ、え、え……。

と、武田、白井窓際へ。外は雨が降っている。

音響・S E 雨。

武田 あ……。

白井 思いつきり降ってますね。

村瀬 ……じゃ、スッパコだけ。

三人、買出しを中止して飲むこととする。

白井 そんなじゃ改めまして、あい、お疲れさまです。

音響・S E 雨の音が強へ。以後、しばらく降り続へ。

時間経過。場面変化。

武田 恋愛

村瀬 ……あたし嫌われちゃう、と思うのは恋のはじまりだね。

武田 あたし嫌われちゃう？

村瀬 だって別に、どうでもいい奴にはあたしのいどう思われてもいいわけじゃん？ 「なんか変

な女」とか「情緒不安定」とか、そう思わせておけばいいわけじゃん。だけど、恋してる時って、なんか言い訳したくなるんだよね。あ、それ違うよ、あたしそういうのじゃないからね。だから嫌いな女の子。

白井 わかります、それ。嫌われんの怖いっていうのは、もう恋のはじまりです。

武田 でも相手が嫌いっていうなら、諦めるしかないんじゃないの？

村瀬 それは恋愛じゃないんだって、だから。別にあたしだって諦める時は諦めるもん。

白井 そうですよ。

武田 あーそっ？

村瀬 あのね、私、初めて付き合った時って、その相手っていうのがすごい、小学校の終わりくらいから中学、高校ってずっと好きだった人で、

武田 えー、小学校？

白井 長いですね。

村瀬 そうなのさうなの。んで高3でやっとその人と付き合えることになって、だからもう、チヨー長い片思いだったから、うわー、みたいな感じで、現実感ないっていうか、夢みたいで、

武田 なんて人だったんですか？

村瀬 え、なに？

武田 なんていうのその、好きな人、名前は。

村瀬 名前はいいじゃん。じゃあ、名前はね、えっとまあ仮にススキくん。

どじかいけって話じゃね、あの子正論。と聞いて、そんな図書館出し、したらなんか雨だったのね、外。

武田 雨……。

村瀬 そう。そんざり一人とも傘もってないし、「よしゆんぬしゆんぬ〜」みたになって、じゃあ今日はバスで帰るっか、ってなってる、あ、なんか駅から学校までが微妙な距離でき。ふうふう歩いてけば25分ぐらいで着くんだけど、微妙じゃん？ 25分。

白井 雨じゃあね。

村瀬 そうそう雨だし。で、その日はまあ、そんなわけでバスでも乗るかっことんなって、一人でバス亭でバス待ってる、なんか木で出来た古い汚いバス亭だったんだけど、なんかトタンっていつの？ 鉄で出来た広告の錆びた看板みたいのかがあつて、

武田 ホウロウ看板みたい。

村瀬 なんかね、そこで一人で仲良しにしてバス待ってたんだけど、したらなんか、隣にいたススキ君が、こじやってあたしの手エ握ってる、自分の膝の上に乗っけて、あつたり前みたいにして乗っけたのね。

音響・曲：。

村瀬 ほんでこじやってポンポンしながらなんか、

ススキ 良かったね。歩かなくて。

村瀬 うん、こじ。そしたら急になんかあたし怖くなってきちゃって、ああ、ススキ君さ、あたしのことほんとに好きになってくれてるじゃん。ススキんの隣にいる女がこのあたしっていう異常事態をさも当然のような顔をして受け入れていらっしやるじゃん。と思つて、ヤバイよヤバイよ、なんかこれはいろいろ誤解とかあるよ、こーか嘘だっ。あたし、嘘がとんでもなくいっぱいあつて、まだわからなくてもらつてないこととかいっぱいあつて、それは全然かわいとかかわいくなことがそつじゆ女の子的なレベルの話じゃなくて、もつなんか人としてホントにあたり適当なやつらしいもん、アタマ悪いし、集中力ないし、すぼろっつくなるし、中身が、そのそのものをいっほご殺してしまいました、と思って、

ススキ そんなの大したことじゃないじゃん。

村瀬 でもそれとせよ、

このあたりから舞台後方に傘を差した群衆が歩いて行く。

ススキ や、大丈夫だよ。誤解とかそんなしないでいい。

村瀬 してんので、絶対。

ススキ なんでよ(笑)?? そりゃ別に、そんなハッキリお前のじゃ全部理解してますよとは言わないけど。でもまあ、その何カ月付き合っついでいとお互にどう、うんうんおしゃべりとかをこきりたわけじゃないですか??

村瀬 うん……。

白井 あ、お帰りなさい。雨がいつですか。
みい うん結構ちゃんと降ってる。

白井 チャリやめりや良かったなあ……。

みい なあなあ、シヨウちゃん、なんか外にお客さん来てはるよう？

武田 お客さんて誰？

みい なんか生方さん、ていう男の人。

武田 ふーん、誰だろ？

みい、外へ出て行くというする武田に傘を渡す。

場面転換。

場面、家の前の路地となる。外は雨でぬる。

生方 あ、武田さん、どうですか？

武田 はい……？

生方 私、生方という者なんですが、ちょっとお話よろしいですか？

武田 そうですね、

生方 毬井道義さんの日記ブログに関してなんですけどあわ、なりすましをやっているのは武田さん、
ていじでよろしいですかね？

武田 そうですね、どちら様なんですかね、あなた様？

生方 毬井くんの恋人の、そのお姉さんの友達です。

武田 それ他人じゃないですか、もはや（笑）。ええっ？。今そっき度、恋人さんとお話してた
とじなんですかね……、

生方 あーいや、正確には、元恋人、なんですかね。水野チサトさんのあの、

武田 はあ……え、その方がなんか？

生方 いや、僕も訴えるとかそういうつもりは全然ないですけどから安心して聞いてほしいんですけど
あの……、成りますましをやっているのは武田さんと、ていじでよろしいですかね？

武田 んーと……。

生方 すみませを急に来ててこんな話で。

武田 うええ……。

生方 でも、そんなんですかね？

武田 ……だとしたらなんなんですか？

生方 やめてほしいんですけど、まあいいじゃあ。

武田 ああ……。

生方 ちょっとキツイ言い方になっちゃうかもいれないんですけど、あなたのやつは最低で
すよ。そりゃ生方いっせいでいいと思ってる人は、信じたくなっちゃいますかあんなもてあつ
たっ……

武田 そっ……一方的に言われると困っちゃうんですけど、

水野 逆にちよっぴだけ心配すけいな。

生方 何がですか？

水野 急に更新止まったたらなんか、何が起きたんだらうっ、みたいな感じで騒いでしゃったりとか、ちよっぴとびっぴの反応するかわかんないですすかかひい。

生方 水野家のジャック・ナイフですもんね。

水野 いや呼んでませんよその名前で？

生方 いや、でも結構その通りかな。

水野 あー…。あれ、今日、おもしろいですね、生方さん。

生方 いや、おもしろくないですよ別に。やめいってください。

水野 すみませぬ。

生方 ……。あの、僕は最初、単なる興味本位でした。この件に関しては。

水野 私が無理言ってお願ひしちやいましたとび。

生方 いやいや。でも今は、や、今も単なる興味本位の部分もありませんけど、ただ、死んだ人を死んだって認めない、こののは、おもしろいですよ。そんなことを思い込めるのは……。

水野 困りものですよ。

生方 でも僕は、いいなあと思って。僕はあの、チサトさんみたいにあんなに人を好きになったことなんてもちろんないですけど、ハルカさんがこういう妹さんを見て、なにかかしてやりたいって思う、そういう……優しいっていうのも安心言葉ですよ。びっぴ、なにかそういうのは、報われるべきだな、っと思ってます。

水野 どうしたんですか、今日、おもしろくないですか、

生方 おもしろくないです、す、やめいください。

水野 すみませぬ……そんな大層なことじゃないですよ。

生方 いや、大層です、僕にとっては。だってなんか、最初にお二人が言い争ってるのを見たときに思ったんですけど、ああ、僕は今まで反抗とっていうことをほとんどしてこなかったんじゃないかって。

水野 そんなことないですよ。

生方 ホントに、いや、ホントにないんです。だからあんな言い争いなんてなかったじゃないですか、っていうか死んだ人間を死んでないといはるとか、なんてことを言った、っと思って。

水野 ねえ。

生方 でも、そんな大変なことを言い出しちゃってる人をハルカさんも、ちゃんとなんか、放置しないかどうか、ちゃんと踏み込んであげるといつか……、ああ、そういうことができるのか人は、っと思って。

水野 ほっほっ。

生方 そんなパワーを持ってませんから僕は。

水野 でもね生方さん、あの子どもだんだんと変わって来てるみたいなんです。

生方 そうですか。

水野 ちよこちよこ人にも会うようになってきたみたいだし、前にほら、つきあった人なんかとも連絡取ってるみたいだし。

生方 あー、あの、ちよこイケっていついた？

水野 そつそつ。ちょいイケの。
生方 良かったですね、それは。

水野 前は電話もメールも一切しない時期ありましたから、こー（集中する、偏る、とこじの意味のジ
エスチャ）、なっちゃっし、

生方 うん……。ゆっくりゆっくりですね、あ……。

電車が停まり、そつと手をしないで歩き出す二人。

場面転換。

武田 一平と女のシーン

一平と女のシーン、雨が降っている。

女、家のベランダで傘を指して外を見ている。

一平 風邪ひくよな女、なに？

女 うん。

一平 じつした？ 眠れないの？

女 なんか昼間に沢山寝ちゃったから。

一平 よくないよそつやって逆転してっっちゃっの女。

女 まあ、たまには雨をゆっくり眺めるのも結構かい？

一平 楽しい？ 雨なんか見し。

女 ……寒い。

一平 (笑) 中入るつよ、じゃあ。

女 わえ、武田へんはね。

一平 ん？

女 じつして死んだ人の日記なんか書いてたわけすつよ？

一平 うん……。じつしたさうな。

女 (笑) 一平が考えたお話なのに、なんでわかんないんだよ。

一平 いやア、自分で考えたからってわかるとは限らないんだよ。

女 へー、そっ。

一平 うん……。

女 じゃあ、あたしの予想を言ってもいい？

一平 うん、どーぞ？

女 武田くんが日記を書き足したのはね、呪い。

一平 呪い？

女 うん。多分武田へんは毬井へんのことが好きだったから、毬井へんからのなんか、かまってオ
ーラみたいな死後の呪いにやらわちゃってたんじゃあないかな。

一平 うーん。鋭い指摘かもしれない。

女 でしょ？

一平 そうじゃないかもしれない。

女 どっちだよ(笑)。

一平 ……もつ中に入ろう。

女 風邪ひくね。

音響・羽の音が強くなってる。

チサト　は？え、じゃあそれ、じゃって成立している会話かな？　ねえ、100%の100%じゃって
会話が成立しているって言えるの？

球井　…まあ、その質問「じゃって」と答えてあげて思ったのは、でも会話も成立している状態と100%の
定義し始めなっちゃうけな　じゃってだよ

チサト　じゃってなにじゃって？

球井　じゃって？　会話が成立している状態というのがどんな状態なのか、まずは「コンセンサスを持たな
い」じゃって……

チサト　別にそんなことがいいたいわけじゃないじゃあ？

球井　でも成立している会話がしたいわけじゃあ？

チサト　そんなの当たり前じゃあ。じゃ別にじゃってあるじゃん会話だ。

球井　うん……。なんか支離滅裂だな。なに、だったら最初から定義付けなくていいから君には
十分定義が理解できているってじゃあ？

チサト　待って待って、誰も定義の話なんかしてないじゃあ？

球井　でもじゃって会話が成立しているのかなって聞いたじゃない。

チサト　聞いたじゃあ？

球井　いや、は？　難しいな、なんか。

チサト　球井くんがなんでもかんでもじゃって簡単なことも難しく考えるから難しくなるん
じゃない。別に難しいことなんてあたいはひとつもじゃってないよ。

球井　別に僕だっけ何も話を難しくしようなどってそんなことは全然思ったこともないわけだ、それは
もちろん、君だっけそんなこと思うよ、だって普通、そういう好きな人とおしゃべりをしようって
時に、何も必要以上に難解な話し方を心がけようなんて、そんな変なこととは誰も思わないじゃないか。

だから別に僕のじゃべりかたをじゃってのは、

チサト　ちよちよちよ、待って待って

球井　なにになに？

チサト　今ちよちよ大事なことがあったと思っただけで、好きな人とおしゃべりしようってのは、
それ、あたしのじゃ好きっていう意味だよわ？

球井　うん。え、だよ思っけよ。

チサト　愛っけよ。

球井　愛っけよ好きの種をじゃってのは、おもしろいって思っけよ。

チサト　だからよ。嘘でもじゃってたらどうじゃあ？

球井　嘘はしねえよ。

チサト　じゃって？

球井　それがよわかなんから僕も困っているんだよ。

チサト　じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、じゃって、
じゃって……

球井　ダメじゃって、じゃって……

チサト　じゃあ、じゃあ、じゃあ。

球井　じゃあ、じゃあ、じゃあ、じゃあ、じゃあ。

チサト　じゃあ、じゃあ、じゃあ。

毬井 うん…。うぬ。

チサト もうやめよこんなの。バカみたいあたしたち。

毬井 うん……。僕もよ／＼、わかんないんだけどね、なんでだか、嘘だと思ったことには従えないんだよ。

チサト うん。

毬井 そっちのが便利なんだろって分かっててもよじっててもよじっちゃう。う。う。でもね、やっぱ人ってそういう、嘘じゃない、ってことを大切にしているのがみんな、多かれ少なかれあるんじゃないかと思うんだ。僕は自分が高なでもわかっているなとて思っていない、お、お、お、何にもわかってない。それが本当で、わかっているでしょ？って言われても、わかんないものはやっぱわかんないから、わかんないって、よじっててもよじっちゃうんだよ。

チサト もういいよ。

毬井 ……。うん。

チサト、 毬井の話を聞きながらうじうじか寝てスレている。議論に疲れてしまったようだ。

毬井、 チサトのそばに寝そべる。

ややあして、

チサト ……。毬井くん。

毬井 ん？

チサト 手。

二人、手をつなぐ。

しなだままま毬井、 その手をひっぱるチサトのほうへうしろ移動する。

チサト あれ、ちよつちよつと歩いてくの？

毬井 もう朝だから。

チサト 朝だからなに、どこか行くの？ あれ？

毬井 うん……。

チサト あー、そっか。毬井くん……。(もう死んじゃったんだっけ……)。

毬井 ……。それじゃ。

チサト あ……。

毬井が去り、チサトが残る。

音響・曲

現実的 水野家・5

水野、母、登場。

場面・水野家に戻る。朝の風景。朝食をとっているお姉ちゃんの話。

水野 どうしたのチサト、田シヨボシヨボさせて？

チサト んー？ そっ？

水野 なんかこんなこと腫れぼったいよねっぴひ。

チサト 寝不足かな……。

水野 ふーん？ 忙しいんだ。

チサト てわけでもないんだけど……、ねえ、お姉ちゃん。

水野 ん？

チサト、ややべったり寝そべっているお姉ちゃんな状態から始まる。

チサト こないだね、しつてもまあ、結構馴だけっ、あたし夢に毬井くんを見てっ。

水野 へー、そっ？

チサト でね、起きたら泣いてたのあたし。最後に毬井くんの顔見たときも絶対泣かないって思ってた、実際、泣かなかったのあたしがさ、夢にちらちらと出てきたら泣いちゃった。

水野 まあ、いいんじゃないの別に。

チサト 良くないよ全然。だって最後に毬井くん見た時からずっと泣くの我慢してっ、あたし。この一年で二回も泣いたことなかったのね、もうあたしが涙を流さない限り毬井くんはいいままずっと生き続けるって思ったの……。

水野 ちょっとはすつきりしたんじゃないの？

チサト うん……。

母、少しだけ離れたところから

母 ……ま、ここのなお母さんとかごいじいちゃんのかもしわないただけっね

チサト @じゃ黙っっ

母 @お母さん……ちやっしんもダメ？

水野 タメ。

チサト セッター。

母 おおっと、まだしてもナイス・コンドネーション・シスターズの登場か？ ゴージャス・プロボ
ーシヨンのメジャーは出場か？

水野 うん、お母さん言うっ？

母 まあ画面、

水野 うん

母 あたしお母さんちんもこのくらいいいわっ、この問題は。

チサト ……お母さん、お母さん、お母さん。

針谷 えええ、ありえないでしょ？

生田目 ないない。

斉藤 へーそうかなあ？

針谷 え、どう思いますかチサトさん？

チサト へん、へん、何？

生田目 なんかね、チカちゃんの不倫相手と生田目とちやちやしてる感じがして、どうもチサトさん、チサト はあ？

斉藤 むしろ中々世世してるところの、いい感じじゃない。

針谷 どうかと思っな、あたいは。

チサト え、もしもキミがチカちゃんが好きなら？

斉藤 え、産みますよチサトさん。全然育つよ。

生田目 そりゃなただ。

針谷 じゃあどうせ。

斉藤 出来なきゃええはあとはなんとかなんじやないの？ リナちゃんなんかそうしてんだしね、チサト そりゃそうだけ。

生田目 え、それはなに？ 認知してないの？ 産んでいいよ。

斉藤 ま、しっぺんならざるわね。しっぺちみち結婚しなきゃなら、それともいっか、しっぺしっ。

針谷 子どもがかわいそうじゃな、

斉藤 いや、その子は限らないじゃん、それなんか、ちよっとならうって人に対して失礼じゃない？

針谷 えー、でもそれは開き直りすぎじゃないか？

チサト え、なんで急にそんな、なんかあつたの？

斉藤 いや別になんでもなくっけ。前からちよっも欲しっな、しっぺしっ。

針谷 そんなだけ？

斉藤 だって若いうちに産んでみたいじゃな、ちよっ。

生田目 あつたしっ？

チサト それはある。

斉藤 ですかね？

生田目 ま、ま、でもシングルマザーでもちよっも憧れたりするの？

針谷 ヤダヤダ、

斉藤 ま絶対、大変だしは思っけど、でもなかなか、所詮エッチなことからへん、でもなかった事にそれ、ちよっから、しっぺしっ。

針谷 なかったことにされちゃう？

斉藤 だって奥さんとかにバレたら普通通り、そんないっしてなごよ、しっぺいわれちゃうわけじゃない？

チサト あー…。

針谷 でもそれはしょうがないじゃん。だって、自分がそういう付き合いを選んだからや、

斉藤 わかってるじゃないの、

生田目 ホラ既婚者が怒ってるよ。

針谷 誰だっつてはなごうしょ、
斉藤 え、じゃああなたで産むの？

針谷 なんでもって、そんなんの別に考えたじやないや……え、単に産むかっただけじゃあごう、
チサト や、それは違うんじゃない。

針谷 あ、違いますか？

チサト だっつては、おんなごと産むっつては、おんなの心か……え、産むっつては、
じつは、みだいのがあるんじゃない。

針谷 それをみじくは違うじやないか？ 思っつて、やっつて。

斉藤 でも、さみじく産む部分てのは、おんなの心か？

生田 っつては、さみじくか？

一座、散会。

現実的 二十回終幕・2

チサト、ハ、斉藤の二人きり。

チサト 大丈夫？ さっきは、さみじく言われたけど、

斉藤 いや全然いいんです。なんかあたしが、いって、そんな普通の感覚じゃないよな、
っつて、おんなは、さみじくか？

チサト あ、さみじくか？

斉藤 はい。周りから、さみじく言われたら、さみじく自分の心が、さみじくか？ と思ったんですけど、
チサト めいじくか？

斉藤 全然でしたわ。

チサト 強いね、チカちゃんね。

斉藤 まっつて、さみじく、実際に産んだわけじゃないか？ っつて、そんな時、さみじく思っつかは、わっかんごう、
チサト さみじくか？

斉藤 でもなんか、普通にダメだろ、みだいに言われたら、さみじくか？ っつて、そんなか、アマノシヤクなんで、
あ、産んだら、みだいに、さみじくか？ っつて、

チサト 直した方が、いっつて、さみじくか？

斉藤 さみじくか？

チサト 苦労する。

斉藤 だったら、別に、さみじくか？ っつて、あ、さみじくか？ っつて、チサトさん、さみじくか？ っつて、
さみじくか？ っつて、

チサト あたし？

斉藤 なんかに聞きました、一時期、めっちゃ働いて、さみじくか？ っつて、

チサト や、仕事だけじゃなく、なんかに、さみじくか？ っつて、あ、さみじくか？

斉藤 さみじくか？ っつて、

チサト うん。みんな同じやって食事とかも来られるようになったし、って、そのころチカちゃん
は就活だったもんね。

斉藤 いや、その頃あたしインドでした。

チサト インド？

斉藤 はい。まあ、就職ももちろん大事なんですけど、むしろこんな時期だからこそ、インドかなっ
て、ガンジス河入ってきい。

チサト 自由だね相変わらぬ。

斉藤 いや、あたしなりに悩んだ結果ですよ。

チサト まあ、そうなんだろうね。

斉藤 でもあたし、チサトさんが店長の仕事を働けてよかったですホントに。

チサト なに急に。

斉藤 急にっていつか、ずっと言おうと思っていて、次の店長に代わってから速攻やめましたもんあた
し。

チサト でもあたしなんて最後はクビみたいなものだからね。

斉藤 それは上の方がおかしいですよ。

チサト いや、あたしが上司でもあのに今の自分は切ったし悪いけど。

斉藤 じゃ、そうなんですかね。きつ。

チサト うん(笑)。なんかもうボロボロだったから……。

斉藤 でもあたしの知っている店長はスチキでしたよ。今日もホント直前まで来ないのかと思って心配
してたんですけど、会えてよかったです。

斉藤が去り、チサトが一人残る。

収録

収録 チサトのメール・2

音響・曲：

傍りに毬井の遺品であるテープレコーダー置き、歩みながら。

チサト 先日は、ブログへのお返事、あとがきについてお返事。何かせず反応が返ってきたけど、
ただもう嬉しくて、それと同時に、あれ以来更新が止まってしまったけど、ただもう恐ろしくて近
頃はうまく眠れませんでした。会えない、このお返事、とても残念でしたけど、もっと毬井くんとお
話したい気持ちで、これ以上は毬井くんとお話をききたいかなって気持ちです。

チサト 私があんなに会いたい会いたと言ったのには実は理由があって、毬井くんに少し、報告し
たいことがあったんです。別にそんなに大したコトじゃないんですが、あたし今度、お母さんとになる

とです。今はまだ四ヶ月とかなんで全然ハッと見はわかりませんが、日々少づいづい、だんだんと自分のカラダの作りが変わっていく感じが感じます。

チサト　もちろんお父さんは毬井くんではありません。私が今、ちゃんとお付まの口をうけてる人です。この間、その人に手伝ってもらってほんの少しだけ部屋の掃除をしました。「これも報告するはずだよ」といじやなごのかもしれないませんが、私にとってはとても大きな「いいえ」といふのもそれね、毬井くんを会えなくなっていくから初めてした掃除だったからだよ。

チサト　毬井くん、多分もうメールをするにはありません。更新の止まっていたブログも、もう見るのはやめようかとも思います。なまじいところ言葉や「J」の手紙を結ぶのはご自分のかわらなごの「いいえ」も普通のめこそいじめの心で思えます。毬井くん、それだよ。

チサト、退場。

曲ごったout。

内容 武田と毬井

武田、登場。

チサトが置いていったテープレコーダーを再生すると毬井の声がする。

毬井　武田へ。

この文書をお前が手にしているところのことだね、おそろく俺は死んでしまっているんだらう。

武田にも一読、考えてみるごうだ。

この自分が死ぬ、ところのはいつたかという感じが、意味なんだ？

自分が死んだあとで消えるのは自分の方なのか世界の方なのか、

普通に考えりゃ世界は自分より大きい。

ちよひよひ「J」の世界は自分の頭の中だよ。ほら収まっているのかもしれない。

一歩いごう。

「J」から出た。

一歩いごう。

武田、これは本当に直剣に聞いて欲しい。

俺は俺が死んでもからも続いていく世界を信じた。

何時も何事も想像の中で死んでみたのはそのためだ。

一歩いごう。

武田、「J」から出つてね。

俺を知っているお前という人間の力で。

俺が死んでも終わらなかつた何かを証明してみせしてくれないか。

こんなことが何になるのかはわからない。

何じまならなごうじじがむかしのうんちひなはかたかた。
そごてても武田……

探偵 ターニムシン

みい、白井が、外から武田の部屋に駆けこまてくる。
場面転換して武田の部屋となる。

みい @シヨウちゃんー！ 聞いて聞いて。

武田 お、お、おー。

みい なんか白井さんがな、シヨウちゃんとの女に抱かれていたよ。えいおん。

白井 いや、みーさん、それは全然違いますよ。

武田 なになに、なんかしたのお前。

白井 いや、違いますよだから。

みい なんかな、今僕たち二人遊んでたよ。いや、か、うんちひなだよ。そなたの好きなやつ。

武田 んん？

みい 男女ふたりが同じ家の中をぶたさるさま。

武田 っらっー

白井 いや、違いますよだから。みんちちひひ、お前をばねかな、あのさ。この間も二つ加減腹立ってたんだ。で俺家にターニムシンを置いたんだよ。

武田 ええ？ プズン？

白井 いや、結構ヤフオクで安く出したよ。

武田 っらっ。

白井 十九万八千円。

武田 高っー

白井 いや、何っしてさか普通はムシンなにかもっし全然高くないよ

武田 よく買ったな。

白井 だけど、なんか考えてみたら俺たちって全然遊びに来る人いないんで、だったらみいさん来て
ていただけですよ。(みい) っらっか、ターニヤリたごりたごりしたじゃねえかよ、

みい ターニはやりたいたももはを。

武田 俺に言えはっらっかねえかよお前

白井 へー。そのうんちひなもっし。じゃ、じゃ、じゃ、じゃ、武田さん、今僕俺たち来て一緒にターニヤ
っらっらっらっ。

武田 @またう度な。

白井 ほらっらっ、武田さん俺たち来る来るっらっー回も来たっらっらっらっら

武田 なんかお前が来てはっらっらっらっらっらっら

みい あかたっらっらっらっらっらっら。

白井 だいたい、みいさんなんかまた結婚結婚いってすげえつゆなかつたんですから、そんな人口説いって気になんないですよ。

武田 うん。大体わかった。よし、そんじゃ着替えて出かけよう。

白井 え、どこ行かんすか？……まさか。

武田 その「まさか」だよ。(ダーツのジエスチャー)。

みい そしたらみいも行へー。

白井 みいさん、俺らガチなんで、みいさんと遊んでる暇とか全然ないよ。

みい そしたらあれやわ、雑誌とか読んどくわ。

武田 ゼクシィでも読んどけお前は。

三人はける。

受容 カーテンとサイダー

音響・幻想的な音楽。

たっくん、父、母が登場。

父 なあ、たっくん。産まれた時ってどんなだったか覚えてる？

たっくん お、なんだなんだやぶから棒に。待ってくれや父ちゃん、なに「産まれたとき」のは、それ、*じゅじゅ*？

母 たっくん、長ぐい暗くて狭いところだったと思っただけよ、それはひとなしいだったと思っ？

たっくん あー。いたかなーそんなじ？

父 いたんだよ。それは父ちゃんよく知っているから間違いない。

たっくん そっ言われっつそんな気がしねーでもねーけ、*じゅ*、あ、そっ？

父 居たんだよ。そっだろ？

たっくん ま、どっちかと言えば居たかな。あー、たっくん、そっだいたわ。

母 じゃあそのさ、暗い狭いところから出てきた時ってどんなだった？

たっくん それももう苦しいのなんの。。。母ちゃんはキャンキャン言っているし、苦しいわ騒がしいわヤシヤシだせまったべ。と思っつて、ちよっつ、こっだけの話、たっくん声出して泣いちゃった。

母 そしたら、たっくん、死んだときってどんなだった？

たっくん は？ なにっつたのさ？

父 たっくん、死んだ時ってどんなだった、して？

たっくん なじと知るかよ。だって死んだっつ、は、*じゅじゅ*？ たっくん、まだ死んでないぜ？

母 はははは。ダメだ。完全に寝ぼけちゃっつてのねじらよ。

父 いや、死にボケちゃっつてんだよ。

母 死にボケ死にボケ

たっくん え？ え？

母 たっくん、違っつでしょ。たっくんこないだ死んだじゃないの。

たつくん ええ？ 冗談だろ。

父 冗談じゃないよ。これは父ちゃんよく知ってるから間違いない。

たつくん ああ…。おお…。ああ…。

父 な？

たつくん なんかそう言われたら、そんな気イしてきたぜ。あ、そういうば父ちゃん、たつくん、死んだな、しかし。

母 そうであらうとこいよあつひいっ。

父 それじゃたつくん、死んだときってどんな感じだった？

たつくん えっとなあ、なんか炭酸の音が遠くなってるな。

父 炭酸？

たつくん おん。炭酸のあの泡のな、しゅわしゅわしゅわー、ていう音がさ、遠くなってるよオ。

コーラだったか、サイダーだったかも忘れちゃったけど、あの泡がはじける音を聞いててな。なんかジュースの入ったグラスがあってよ、たつくん、こつやってしゃがんでその音を聞いてんだよ。いや、ジュースじゃないな。ハイボールだったかもしんない。

父 ハイボール？

母 大人じゃーん。

たつくん そんでたつくんその音に耳澄ましてたんだけど、だんだんだんだん遠なくなってるんだよ。だんだん聞こえないようになっていって、しゅわしゅわしゅわーっていうのが、まだ聞こえる、まだ聞こえる、ああ…。あれ？。て。聞こえないようになって、びび…。それでフーなって立ち上がったから、風が止んでんだよね。で、カーテンの間からすーっと光漏れたのが見えてきてよ。あれ？。こつこつこつこつだったけ？ 思い出せねえなってなって。あれ？ ひよつとしたら、これ、もしかするっ、たつくん、…死んだかもわからんぞ。て。いや、それでわかったんだよ、たつくん、死んだんだなあつひい。

音響・セリフの途中で無音になる。

終幕 カサの女と麗ひらた男・4

女 ねえ、なんかまたお話ししてよ。

一平 うーん。もうないんだとお話ほ。

女 ぶーん。

一平 今日はね、君に、謝らなくちゃいけないことがあるんだ。

女 なに？

一平 あのね……。あの金魚が死んじゃったんだ。

女 @ねえ、あたしが死んだあとも、あの金魚って育てるっ。

いれ以降のセリフはいわゆる普通の会話とはなご。

一平の記憶と一平の現在が交錯している。

